

# 進路ジャーナル

第 110 号  
平成31年 4月24日  
編集発行  
磐城桜が丘高等学校  
進路指導部  
印刷 (株)ネクスト情報はましん

## うが 点滴 石を穿つ

～小さな努力でも根気よく続けていけば成果が得られる～

### 平成三十二年 卒業生進路状況

#### 進路指導部

平成三十二年卒業生の国公私立大学合格者数は、国立大学二十五名、公立大学十五名の計四十名であった。昨年度比十三名減という厳しい結果となった。主な要因として、前期試験で志願のランクを下げずに第一志望を貫いた生徒が多かったこと、大規模私立大学合格者が伸びなかった。

国公私立大学の推薦・AO入試については、受験者三十三名(昨年度二十九名)に対して十名(昨年度十六名)が合格し、合格率は三十三・〇%、昨年度四十一・〇%であった。

卒業年度(平成)	30	29	28
東北医科大学	2	1	7
東北学院大学	9	1	6
東北福祉大学	4	8	6
医療創生大学(旧いわき明大)	12	37	35
茨城キリスト教大学	11	6	11
国際医療福祉大学	8	10	10
自治医科大学	1	2	2
白鷺大学	15	8	7
女子栄養大学	1	1	2
獨協大学	9	3	1
文教大学	7	7	4
神外語大学	8	3	5
千葉工業大学	10	9	7
青山学院大学	1	1	1
大妻女子大学	2	2	2
学習院大学	1	3	3
北里大学	3	4	5
共立女子大学	2	2	4
國學院大学	1	1	1
国土館大学	2	2	3
駒澤大学	2	4	3
実践女子大学	3	2	3
芝浦工業大学	2	2	2
昭和女子大学	3	4	2
成蹊大学	1	1	4
成城大学	2	1	1
専修大学	1	4	4
大東文化大学	5	2	16
拓殖大学	2	3	3
中央大学	3	3	3
津田塾大学	3	1	1
帝京大学	9	4	4
東海大学	10	6	5
東京家政大学	3	6	3
東京工科大学	8	1	6
東京女子大学	1	1	1
東京電機大学	1	1	1
東京都立大学	2	2	2
東京農業大学	3	1	1
東京薬科大学	3	1	1
海洋大学	13	17	15
日本大学	8	11	15
日本体育大学	1	3	3
法政大学	5	1	4
明治大学	3	2	3
明治学院大学	1	1	1
早稲田大学	1	1	2
立教大学	1	1	1
新宿国立大学	6	7	4
神奈川大学	2	1	6
新潟医療福祉大学	2	1	6
その他の私立大学	127	143	152
私立大学合計	309	347	386

#### 国公立大学合格内訳

推薦入試	8
AO入試	2
前期試験	19
中期試験	1
後期試験	8
別日程	1
二次募集	0
追加合格	1
合計	40

#### 主な大学合格者数 (現役生のみ)

卒業年度(平成)	30	29	28
北見工業大学	1	1	
北海道教育大学	1	2	
弘前大学	1		
岩手大学			1
東北大学	1		
宮城教育大学		2	4
秋田大学		1	
山形大学	1	1	1
社会学部			
地域教育文化学部			
理学部		1	1
工学部	1	4	1
農学部		1	3
行政政策学類	2		1
経済経営学類		3	
人間発達文化学類	3	1	2
共生システム学類		1	
食農学類			
人文社会科学部	1	1	2
教育学部	4	1	2
理学部	1		
工学部	1	5	3
農学部	1	1	1
筑波大学	1	1	1
宇都宮大学	1	2	
群馬大学	1	1	2
埼玉大学	1	2	
千葉大学			1
東京外国語大学	1		
東京学芸大学	3		
新潟大学		2	2
山梨大学	1		
信州大学	1	1	1
広島大学			1
鹿児島大学			1
創価公立大学	1		
青森県立保健大学	2	1	
青森公立大学	1	1	
岩手県立大学	1	1	
宮城大学			2
秋田県立大学	1	1	4
秋田県立美術大学			1
福島県立医学部	1	2	
福島県立看護学部	1	1	2
会津大学	1	1	2
茨城県立医療大学	1		1
群馬県立女子大学	1		1
高崎経済大学	3	4	
前橋工科大学	2		
千葉県立保健医療大学	1		
首都大学東京	1	1	
神奈川県立保健福祉大学	1		
横浜市立大学	1		
新潟県立大学	1	1	2
金沢美術工芸大学	1		
都留文科大学	2	1	
長野大学	1		1
公立鳥取環境大学	1		1
国公立大学合計	40	53	49

#### その他の大学 (30年度のみ。短大・専修学校等は除く)

札幌大・石巻専修大・仙台大・仙台北百谷女子大・東北工業大・宮城学院女子大・秋田看護福祉大・日本赤十字秋田看護大・東北芸術工科大・郡山女子大・東日本国際大・つくば国際大・常盤大・流通経済大・作新学院大・群馬医療福祉大・上武大・高崎健康福祉大・浦和ら・埼玉学園大・城西大・駿河台大・日本医療科学大・日本薬科大・江戸川大・秀明大・淑徳大・聖徳大・千葉科学大・千葉商科大・和洋女子大・亜細亜大・跡見学園女子大・桜美林大・杏林大・清泉女子大・工学院大・順天堂大・昭和和大・高千穂大・玉川大・帝京科学大・帝京平成大・東京有明医療大・東京医療学院大・東京経済大・東京学芸大・日本社会事業大・日本女子大・日本女子体育大・日本文化大・文化学園大・文京学院大・武蔵野大・明星大・ヤマザキ動物看護大・神奈川工科大・鎌倉女子大・関東学院大・相模女子大・湘南工科大・桐蔭横浜大・新潟薬科大・中京大・京都外国語大・京都光華女子大・宝塚大・奈良大・神宮国際大

### 新年度のスタートにあたって

#### 進路指導主事 今村 義泰

「努力は必ず報われる」・「毎年の思いを胸に叱咤激励してきました」・「どんなに頑張っても思うような結果が出ないこともあります」・「それでも、努力してきた人が最後は笑顔で信じています」

三月二十八日、茨城大学の追加合格の知らせが舞い込んできました。決して諦めないで、努力し続けてきた姿に神様は微笑んでくれました。

さあ新たな一年が始まります。

た。戦う相手が全国の大学受験に勝利するためには、自分の将来に向けての目的意識を持ち続けること、揺るぎのない基礎学力を身につけること、新しい入試制度に関する豊富な知識や情報を備えることが不可欠となります。

進路指導部では新たな一年の始まりにあたって、次の点を重点目標に定め、生徒のみなさんの進路目標の実現に向けて取り組んでいきたいと考えております。

一 進路実現に対応できる学力の育成

二 多様化する入試形態への対応

三 進路意識の高揚と定着

毎日の授業をベースに、課外授業や模擬試験、模試結果を受けての分析会、進路に関する講演会や大学見学会、大学の先生を招いての模擬授業や小論文講座など、全校生徒や各学年を対象にして、多くの行事や企画を実施します。指

### ◆三年生

マーク模試では正確に自己採点ができるように訓練をしておいてください。本番でのマークミスや段ずれなどは致命傷になります。また、課外授業はすべて希望制となります。自由に選択できるといっても、同時に自分の受験に自分が責任を持つこととなります。自分に自信を持つために、最後まで信じている自分のために、何をすべきでしょうか。

### ◆一・二年生

「もっと勉強しておけばよかった」と、毎年のように嘆いている先輩がいます。目標を早い時期に決めて、迷うことなく邁進すれば、第一志望の大学に合格できる確率はかなり上がるはずです。何を

#### 平成三十二年 卒業生の進路状況

平成三十二年卒業生の進路状況は、国公私立大学へは、卒業生二百六十八名中四十名、卒業生の十五・〇%が合格しました。一年次の進路希望調査においては、約八十%が国公私立大学進学を希望内訳は、公募推薦に関しては三十三名に対して十名が合格し、合格率は三十・〇%でした。一般受験に関しては九十名中三十三名(前期二十一名、中期一名、後期八名)が合格し、合格率は三十七・〇%でした。合格した主な大学は、磐城桜が丘高校が初めて東京学芸大学、宮城教育大学に合格し、十五年ぶりに東京外国語大学に一名、十五年ぶりに東北大学に一名、首都大学東京に一名が合格するなど、畿内大学への合格者が出ました。合格した国立大学の地域は、北海道、東北、関東の十一校から二十五名が出ました。一番多くの合格者を出したのは茨城大学で、人文

社会科学部一名、教育学部四名、理学部一名、工学部一名、農学部一名の合計八名が合格しました。地元福島県には行政政策学類二名、人間発達文化学類一名の合格者を出しました。また、公立大学においては、北海道、東北、関東から、振り返りをしっかりとやること、毎日自分がやるべきと決めた内容を、同じリスニングで淡々と続けていた人が着実に伸びました。二つ目は「確かな学力を身につけること」です。推薦、一般入試を問わず、どんな進路に対して、どのような目標を設定し、具体的な方法を決めて、実践にそれを実行し、定期考査・模擬試験の結果から、振り返りをしっかりとやること、毎日自分がやるべきと決めた内容を、同じリスニングで淡々と続けていた人が着実に伸びました。二つ目は「確かな学力を身につけること」です。推薦、一般入試を問わず、どんな進路に対して、どのような目標を設定し、具体的な方法を決めて、実践にそれを実行し、定期考査・模擬試験の結果から、振り返りをしっかりとやること、毎日自分がやるべきと決めた内容を、同じリスニングで淡々と続けていた人が着実に伸びました。二つ目は「確かな学力を身につけること」です。推薦、一般入試を問わず、どんな進路に対して、どのような目標を設定し、具体的な方法を決めて、実践にそれを実行し、定期考査・模擬試験の結果から、振り返りをしっかりとやること、毎日自分がやるべきと決めた内容を、同じリスニングで淡々と続けていた人が着実に伸びました。二つ目は「確かな学力を身につけること」です。

良いのではないかと、意見は確かにあるが、残念ながら地方公立の「進学校」としての評価指標は国公立大学の合格者数に勝るものはないが現状である。本校にも進める生徒の九十・〇%近くが国公立大学への進学を目指しているが、現実問題として当面の目標である八十名を超えることができない。一定以上の人数を生み出し続けることは地域から与えられた本校の責務である。

いよいよ次年度を迎える大学入試改革に向けて、「新しい学力」を身に付けるためにも、キャリア教育の視点が不可欠である。さらに生徒の自覚・表現力の育成も重要である。一年次から総合的な学習の時間などを有効に活用し、計画的に進めていきたい。

一方、教科ごとに記述力を養成し、二次力を付けることも重要である。そのためにも低学年からの授業と課外、模試のあり方を再検討していく必要がある。また、面接や小論文対策も三年間を通して進めていく必要がある。「受験科目」として得点を伸ばすだけでなく、生徒が自ら学習する興味・意欲を引き出し育てることが最重要課題である。

最後に、卒業生を三年間指導してきた経験から次のことを気を付けてほしいです。一つ目は「進路目標を自ら設定し、具体的な方法を継続して行うこと」です。目標があるといふに、具体的に何をやるべきか、具体的な方法を決めて、実践にそれを実行し、定期考査・模擬試験の結果から、振り返りをしっかりとやること、毎日自分がやるべきと決めた内容を、同じリスニングで淡々と続けていた人が着実に伸びました。二つ目は「確かな学力を身につけること」です。推薦、一般入試を問わず、どんな進路に対して、どのような目標を設定し、具体的な方法を決めて、実践にそれを実行し、定期考査・模擬試験の結果から、振り返りをしっかりとやること、毎日自分がやるべきと決めた内容を、同じリスニングで淡々と続けていた人が着実に伸びました。二つ目は「確かな学力を身につけること」です。